

# 経営比較分析表

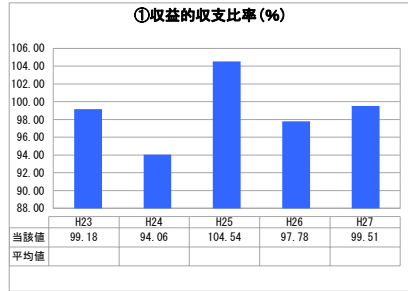
千葉県 茂原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	33.98	76.27	3,024

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
91,358	99.92	914.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,949	8.09	3,825.59

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



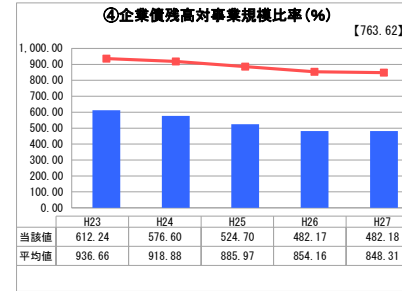
「単年度の収支」



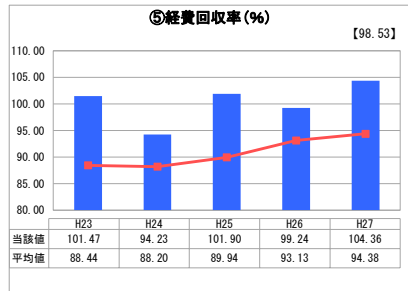
「累積欠損」



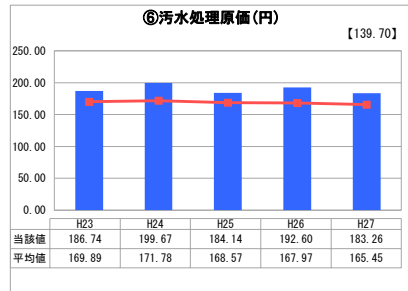
「支払能力」



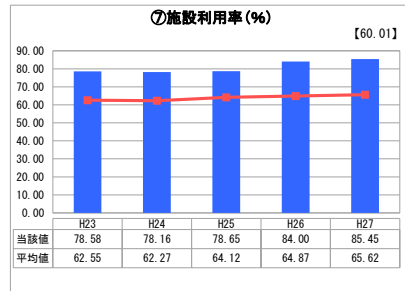
「債務残高」



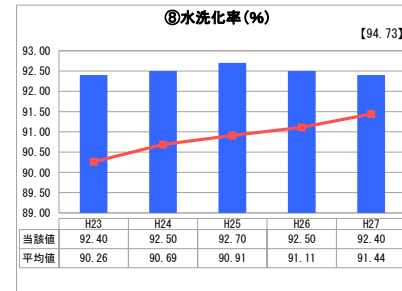
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

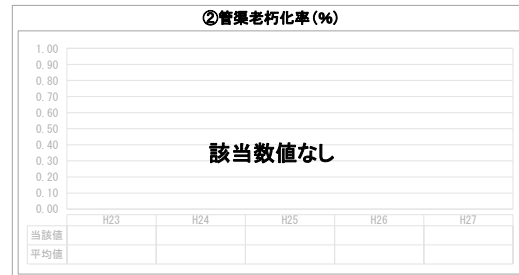


「使用料対象の捕捉」

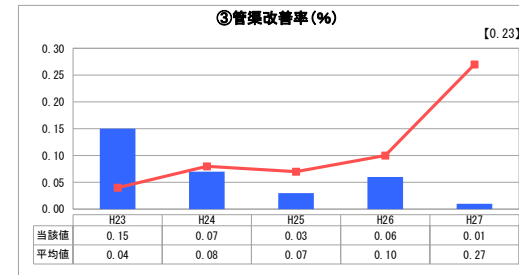
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率については、100%に満たないため引き続き経営改善が必要だが経年比較においては改善傾向が見られる。
- ②企業債残高対事業規模比率については、全国平均値比較、類似団体比較ともに過剰投資となっている。
- ③経費回収率は100%を上回っており使用料水準は適正と言える。
- ④汚水処理原価については、全国平均値比較、類似団体比較ともに原価が高いという状況にあり、効率的な汚水処理、有収水量増加の取組等の経営改善を必要とする。
- ⑤施設利用率については、全国平均値比較、類似団体比較においてともに上回っており、現有施設の規模はほぼ適正である。
- ⑥水洗化率については100%に満たないが、全国平均値、類似団体比較ともに上回っている。

### 2. 老朽化の状況について

現在平成31年度の法適化に向けて資産調査及び評価を実施している最中であるため、老朽化の状況を正しく把握する数値はないが、管渠改善率については現在更新ペースが遅いということとなっている。対策としては、現在、管渠更生を考慮したストックマネジメント計画を策定中であるため、策定にあたって行っている調査結果を踏まえ、計画的な改修更新を行う。

### 全体総括

収益的収支比率については、100%に満たないものの、昨年度と比較して1.73ポイント改善している。主な改善理由は低金利により償還金の利子額が減少したことによるものであるが、処理場管理費についても減少傾向にある。大口企業の撤退により有収水量が減少したため、汚水処理原価は8.46円上昇してしまったが、直近の数値では有収水量が改善傾向にあるため、今後は減少すると見込んでいる。しかしながら類似団体平均と比較すると依然割高であることから、引き続き維持管理費の削減が必要と考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。